

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の進行管理
【令和5年度実績】

環境部 環境政策課

令和7年1月

目次

第1章	横須賀市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について	
1	計画の概要	1
2	施策の分類と一覧	1
3	計画の進行管理	2
第2章	関連施策の取組実績と評価	
1	重点施策	4
2	継続施策	6
3	検討施策	15
4	その他（災害廃棄物対策）	16
第3章	数値目標と対象年度実績の比較	17
第4章	総合評価	
1	関連施策の取組について	18
2	令和5年度ごみ処理実績値と数値目標の比較	19
【別添資料】		
1	ごみ処理実績の5か年推移	20
2	神奈川県一般廃棄物処理実績報告の定義に基づく生活系、事業系 ごみの内訳	22
3	県内19市の資源化率と原単位（1人1日排出量）	23
4	ごみ処理経費の推移	24
5	県内19市のごみ処理経費（令和4年度実績）	25

第1章 横須賀市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について

1 計画の概要

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画は、長期的視点に立った本市の一般廃棄物処理の基本方針となる計画です。

本計画では廃棄物の課題や処理について市民、事業者、市が「自分ごと」として捉え、互いに連携し、廃棄物の減量化、資源化、適正な処理を行い循環型社会の実現をめざしていきます。

◆計画期間

令和4年度（2022年度）～令和11年度（2029年度）

◆基本理念

「未来へつなぐ“循環型都市よこすか”の推進」

◆基本方針

- ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）に、リフューズを加え「3R+1」を基本方針とし、ごみを減らす取り組みを推進します。
- ・SDGsを達成するための取組を推進します。

2 施策の分類と一覧

基本理念を実現するため、基本方針に沿って「重点施策」、「継続施策」、「検討施策」を実施していきます。

【重点施策】

食品ロス、プラスチックごみへの対応など時代に即した施策や事業系ごみに関する施策で「循環型都市よこすか」推進のため、計画期間中に特に重点的に推進する施策

【継続施策】

啓発や指導など、これからも継続して推進し充実させていく施策

【検討施策】

ごみの有料化など、これからも継続して検討していく施策

施策の一覧

施策の分類	具体的施策
1. 重点施策	①食品ロスに関する施策
	②プラスチックごみの削減、資源化の推進
	③事業系ごみに関する施策
2. 継続施策	①ごみの減量化、資源化、適正処理のための啓発
	②ごみの排出指導
	③処理手数料の適正化
	④分別区分の整理
	⑤高齢者等のごみ出し支援
	⑥いわゆる「ごみ屋敷」への対応
	⑦剪定枝（枝草）の資源化
	⑧海岸漂着ごみの円滑処理
	⑨ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底
	⑩不法投棄対策の強化
	⑪適正処理困難物および排出禁止物に関する指導
3. 検討施策	①家庭系剪定枝の資源化
	②家庭ごみの有料化
	③ごみ処理に関する新たな技術等の調査、検討

3 計画の進行管理

施策の取組や各年のごみ排出量等について、廃棄物減量等推進審議会に諮り、計画の評価を行います。

(1)関連施策の取組実績と評価(第2章)

各年度の施策の取組状況について、以下の3段階で評価しました。
実績値の増減に対してではなく、施策に関する取組の有無を判断基準とします。

A：予定通り実施した B：一部実施した C：実施しなかった

(2)数値目標と対象年度実績の比較(第3章)

ごみ排出量などの数値目標について、対象年度の実績値との比較を行います。
数値目標については、令和2年度実績を基に、ごみ処理基本計画の最終年度となる令和11年度のごみ排出量などを設定しています。

【数値目標設定の考え方】

①人口減少等によるごみの減少

- ・ 定日収集ごみ、粗大ごみの減少

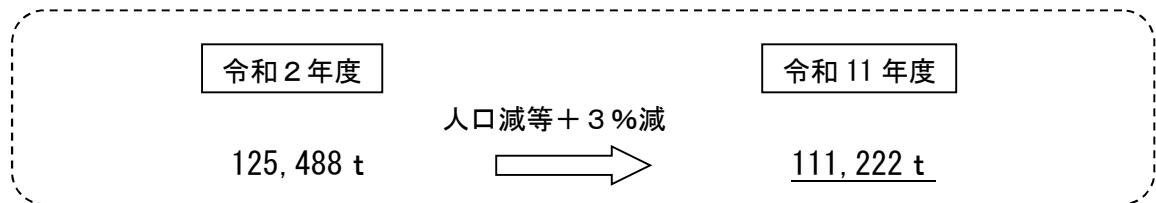
燃せるごみ、不燃ごみ、缶・びん・ペットボトル、容器包装プラスチック（プラスチック資源）の定日収集ごみと粗大ごみが、人口減により毎年 0.8%ずつ減少すると想定しています。

- ・ 集団資源回収の減少

毎年 4 %減少すると想定しています。

②施策等によるごみの減少

- ・ ①の推計量から 3 %削減することを目標として設定しています。



第2章 関連施策の取組実績と評価

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に記載している施策に関する取組の実績をまとめ、その実績をもとに、各年の施策の取組状況を評価します。

施策の評価基準は以下のとおりです。

A：予定通り実施した B：一部実施した C：実施しなかった

1. 重点施策

（1）食品ロスに関する施策（環境政策課、廃棄物対策課）

評価	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	A	A						

【取組実績】

- ・家庭から出るごみの食品ロス組成調査を4回実施しました。
- ・ごみトークや子どもごみ教室などで、食品ロス削減について啓発しました。
- ・市内の事業者を対象に、食品ロス削減についてのヒアリングを行いました。
- ・他都市の取組の情報収集を行いました。

実績の推移	【参考】 R3	R4	R5	R6	R7
燃せるごみ（定日収集）に含まれる食品ロスの割合	12.8%	5.8%	6.8%		
厨芥類における食品ロスの割合	35.9%	29.6%	25.0%		
推定される食品ロス発生量	8,120 t	3,551 t	3,901 t		

食品ロスとは？

まだ食べられるのに捨てられている食べ物を指します。

（直接廃棄、食べ残し、過剰除去など）



食品ロス調査の様子

(2) プラスチックごみの削減、資源化の推進 (環境政策課、広域処理センター)								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・令和 5 年 10 月 1 日から、市内全域で容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括収集を実施しました。
- ・プラスチック資源循環促進法第 33 条にかかる製品プラスチックの再商品化を実施しました。
- ・プラスチック再商品化製品の品質検査を実施しました。
- ・プラスチック使用製品廃棄物品質調査を実施しました。

実績の推移	R 4	R 5	R 6	R 7
直送分	—	40, 106 t		
アイクル経由分	—	147, 216 t		

(3) 事業系ごみに関する施策 (廃棄物対策課)								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・廃棄物の減量化・資源化を推進するため、事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を受理し、集計結果をホームページで公表しました。
- ・市内の事業者を対象に、食品ロス削減についてのヒアリングを行いました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	220 件	218 件	218 件		

2.継続施策

(1) ごみの減量化、資源化、適正処理のための啓発（環境政策課、廃棄物対策課、広域処理センター）

評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	A	A						

【取組実績】

①児童や生徒に対するごみ教室の開催や啓発冊子の発行

- ・子どもごみ教室を 42 回開催し 1, 895 人が参加しました。
- ・児童用ごみ減量啓発冊子を 3, 600 部作製しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
子どもごみ教室	47 回 1, 393 人	54 回 2, 598 人	42 回 1, 895 人		
啓発冊子	4, 000 部	3, 700 部	3, 600 部		

②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行

- ・ごみ分別パンフレット 235, 000 部、ごみ分別パンフレット（外国語版）10, 700 部作製しました。
- ・分別収集カレンダーを 220, 000 部作製しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
分別パンフレット	25, 000 部	13, 000 部	235, 000 部		
分別パンフレット （外国語版）	5, 000 部	2, 000 部	10, 700 部		
分別収集カレンダー	220, 000 部	220, 000 部	220, 000 部		



子どもごみ教室におけるパッカー車見学の様子



ごみ分別パンフレット

③ごみ分別アプリの配信

- ・スマートフォン用ごみ分別アプリの令和6年3月末時点のダウンロード数は、56,641件でした。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
ダウンロード数	45,908 件	51,322 件	56,641 件		

横須賀市ごみ分別アプリ「スカ☆ごみ」

分別ルールや各地域の収集曜日、持込施設の場所といったごみ関連情報を確認できるほか、分別の検索ができるアプリです。

④広報誌やホームページによる周知啓発

- ・広報よこすかに8回、11件を掲載しました。
- ・HP「ごみデータ in よこすか」を毎月更新し、ごみ量の推移を周知しました。
- ・ポスター及び標語を募集しました。（ポスター：1,028点、標語：466点）
- ・立て看板、ポスター、懸垂幕、横断幕等による啓発を実施しました（6月、10月各1か月間）

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
広報よこすか	8回 12件	9回 12件	8回 11件		
ポスター	951点	835点	1,028点		
標語	383点	355点	466点		

⑤ごみトーク・ごみ問題学習会の開催

- ・ごみトークを303回実施し、8,286人が参加しました。
- ・ごみ問題学習会を22回実施し、383人が参加しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
ごみトーク	2回 38人	7回 255人	303回 8,286人		
ごみ問題学習会	0回 0人	4回 83人	22回 383人		

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ごみ問題学習会の実施を見合わせました。

※令和5年度は分別変更があったため、ごみトークの回数が増加しています。

⑥アイクルフェアの開催

- ・アイクルフェアを1回開催し、延べ2,688人が来場しました。
- ・集団資源回収で回収した古本・古着について、アイクルフェアで古本・古着市を開催しました。
- ・粗大ごみで回収した家具の一部を補修して展示し、アイクルフェアで49個提供しました。
- ・株式会社エコランドと連携し、アイクルフェアにてリユースできるおもちゃ等を回収するボックスを設置しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
アイクルフェア ※人数は延べ数	0回 0人	1回 1,400人	1回 2,688人		
再生家具提供個数	0個	58個	49個		

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、アイクルフェアの開催を中止しました。

⑦市民共同による啓発活動

- ・6月をクリーンよこすか推進月間とし、美化活動に延べ57,128人が参加しました。
- ・11月にクリーンよこすか市民のつどいを実施し、377人が参加しました。
- ・6月に5日間、10月に5日間、ポイ捨て防止街頭キャンペーンを実施し、122人が参加しました。
- ・ごみダイエット推進員研修会を20回開催し、延べ280人が参加しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
クリーンよこすか 推進月間における 美化活動の実施 ※人数は延べ数	61,834人	69,215人	57,128人		
クリーンよこすか 市民のつどい	0人	377人	377人		
ポイ捨て防止街頭 キャンペーン	104人	177人	122人		
ごみダイエット推 進員研修会 ※人数は延べ数	0人	0人	280人		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度はクリーンよこすか市民のつどい及びごみダイエット推進員研修会を中止、令和4年度はごみダイエット推進員研修会を中止しました。



みこしパレード前のキャンペーンの様子

⑧施設見学による分別や処理の周知

- ・リサイクルプラザ「アイクル」で 143 団体、4,789 人（うち、市内の小中学校・保育園 49 校、2,896 人）の見学者に対して施設見学を行いました。
- ・横須賀ごみ処理施設「エコミル」で 97 団体、3,750 人（うち、市内の小中学校・保育園 48 校、2,998 人）の見学者に対して施設見学を行いました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
アイクル施設見学	23 団体 222 人	69 団体 1,509 人	143 団体 4,789 人		
（うち市内の小中学校・保育園の見学）	1 校 48 人	13 校 645 人	49 校 2,896 人		
エコミル施設見学	0 団体 0 人	0 団体 0 人	97 団体 3,750 人		
（うち市内の小中学校・保育園の見学）	0 校 0 人	0 校 0 人	48 校 2,998 人		

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は、小学生のリサイクル学習事業（アイクルの見学）及びエコミルの見学を中止し、令和4年度は、エコミルの見学を中止しました。

⑨生ごみ等減量化処理機器を購入する市民に対する補助制度の推進

- ・電動型生ごみ処理機 150 基、EM処理容器 17 基、コンポスト容器 36 基、小枝粉碎機 15 基の購入費を補助しました（非電動型生ごみ処理器は購入額の4分の3、電動型生ごみ処理機・小枝粉碎機は購入額の2分の1、いずれも限度額3万円）。
- ・広報よこすかへの掲載や、クリーンよこすか市民のつどい、アイクルフェアなどのイベントに出展するなど、生ごみ等減量化処理機器の普及に努めました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
電動型生ごみ処理機	101 基	105 基	150 基		
EM処理容器	7 基	7 基	17 基		
コンポスト容器	36 基	39 基	36 基		
小枝粉碎機	13 基	16 基	15 基		



環境月間のイベントにて展示した
生ごみ等減量化処理機器

補助金制度の概要

i) 補助対象者

横須賀市在住で、家庭から出る生ごみを自家処理するために購入する方

ii) 補助対象

処理機器本体及び初回稼働に最低限必要な基材や EM ぼかし等（送料や消費税も含む）

iii) 補助額

非電動型生ごみ処理器	購入額の 4 分の 3（上限 3 万円）
電動型生ごみ処理機	購入額の 2 分の 1（上限 3 万円）
小枝粉碎機	購入額の 2 分の 1（上限 3 万円）

（２）ごみの排出指導（廃棄物対策課）

評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・市民等への分別排出指導を 292 件、ごみ集積所の新設・移設等を 244 件実施しました。
- ・ごみ収納ボックスを 232 台・カラス除けネットを 1,101 枚配布しました。
- ・ごみ収納ボックスの配布に加え、町内会・自治会が独自購入したごみ収納ボックスの購入費用を対象としたごみ収納ボックス等購入補助金制度を新設しました。
- ・ごみ収納ボックス等 56 件の購入費を補助しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
市民等への分別排出指導	344 件	249 件	292 件		
ごみ集積所の新設・移設等	231 件	209 件	244 件		
ごみ収納ボックス	323 台	115 台	232 台		
カラス除けネット	2,353 枚	2,199 枚	1,101 枚		
ごみ収納ボックス等 購入費補助	—	—	56 件		

※ごみ収納ボックス等購入費補助は令和 5 年度から開始しました。

（３）処理手数料の適正化（環境政策課）

評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・他都市の廃棄物処理手数料の状況を調査しました。

(4) 分別区分の整理 (環境政策課)								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・令和 5 年 10 月から、粗大ごみの定義見直しやプラスチックの一括収集に伴う分別変更をしました。
- ・分別変更に向けて、ごみトーク等の啓発活動の実施や関係機関・部内調整を行いました。

(5) 高齢者等のごみ出し支援 (廃棄物対策課)								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・高齢者等支援収集を 67 件実施しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
高齢者等 支援収集	43 件 実働 154 日	56 件 実働 180 日	67 件 実働 205 日		

高齢者等支援収集の制度の概要

i) 対象世帯

下記のすべての条件を満たす世帯及びその他、市長が特に必要と認める世帯が対象となります。

- ・65 歳以上、要介護 2 以上
- ・自らごみ集積所にごみを出すことが困難で、親族・近隣住民・地域ボランティア等、ホームヘルパーによるごみ出し支援が困難な世帯
- ・住民税非課税世帯

ii) 現地確認と収集開始

現地確認ののち、久里浜収集事務所職員が週 1 回、「燃せるごみ」「缶・びん・ペットボトル」「プラスチック資源」「不燃ごみ」を戸別収集します。

（６）いわゆる「ごみ屋敷」への対応（廃棄物対策課）

評価	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R10年度	R11年度
	A	A						

【取組実績】

- ・ごみ屋敷に関する通報や相談等を関係課で受け付け、現地確認や排出支援等を実施しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
排出支援 実施回数	8件	8件	6件		

（７）剪定枝（枝草）の資源化（広域処理センター）

評価	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R10年度	R11年度
	A	A						

【取組実績】

- ・民間の資源化処理施設に持ち込みできない枝草等を、積替保管施設で受け入れ、1,957 トン資源化処理委託を行いました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
枝草等の資源 化委託量	2,105 t	2,143 t	1,957 t		

（８）海岸漂着ごみの円滑処理（環境政策課、廃棄物対策課）

評価	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R10年度	R11年度
	A	A						

【取組実績】

- ・（公財）かながわ海岸美化財団により海浜地清掃を実施し、処理量は139,350kgでした。
- ・海洋プラスチックごみ対策アクション宣言賛同事業者と連携し、海岸等の清掃活動やその支援等を実施しました。

〈賛同事業者と連携した取組の例〉

- ①清掃活動を行う賛同事業者へトンクやごみ袋等の提供を行いました。
- ②賛同事業者が立ち上げた清掃活動や回収したごみの分析を行うプロジェクトの後援を行いました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
(公財) かながわ 海岸美化財団 処理量	127, 359kg	149, 160kg	139, 350kg		
海洋プラスチック ごみ対策アクション 宣言賛同事業者数	139 団体	231 団体	237 団体		

※海洋プラスチックごみ対策アクション宣言は、令和3年度は都市戦略課で所管していました。



海洋プラスチックごみ対策アクション宣言
ロゴマーク

(9) ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底 (環境政策課)								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・ごみゼロ啓発キャンペーンを実施しました (5月)。
- ・年末年始キャンペーンを実施しました (12月)。
- ・巡回指導を 256 回、喫煙中止指導を 192 件実施しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
巡回指導	258 回	264 回	256 回		
喫煙中止指導	208 件	11 件	192 件		

※新型コロナウイルス感染防止のため、令和4年度は、4月～2月までは車両で巡回を実施、直接の指導はしていません。

ごみゼロ啓発キャンペーン

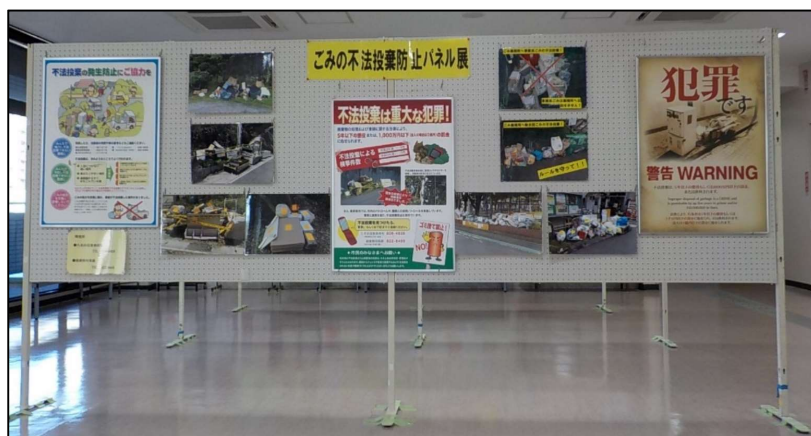
ごみの落ちていない清潔で安全なまちを目指すため「ごみゼロの日」(5月30日)に、ポイ捨てごみの回収やポイ捨て防止の啓発等を行う取組

(10) 不法投棄対策の強化（廃棄物対策課、久里浜収集事務所）								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・パネル展を 10 か所で開催、警察との合同パトロールを 9 回実施、移動式監視カメラの活用をしました。
- ・巡回調査等を延べ 15,980 か所実施し、処理量は 33.98 トンでした。
- ・不法投棄防止対策として夜間監視パトロールを 3 日間実施しました。

実績の推移	【参考】 R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
パネル展	10 か所	10 か所	10 か所		
警察との合同パトロール	7 回	12 回	9 回		
巡回調査等	延べ19,492 か所 30.26 トン	延べ17,786 か所 30.69 トン	延べ15,980 か所 33.98 トン		
夜間監視パトロール	5 日間	3 日間	3 日間		
不法投棄多発地帯への 環境ポスター掲出	10 か所	9 か所	7 か所		



不法投棄防止のパネル展

(11) 適正処理困難物および排出禁止物に関する指導（環境政策課、廃棄物対策課、広域処理センター、久里浜収集事務所）								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・各施設の実態に沿って、受け入れる一般廃棄物の追加、削除品目検討等、受入内規を見直しました。
- ・市民からの問い合わせや持込み時に適正処理困難物・排出禁止物の指導を行いました。

3.検討施策

(1) 家庭系剪定枝の資源化（環境政策課）

評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・現段階で導入の予定はありませんが、県内を中心に他自治体の実施状況や動向等の情報収集を行いました。

(2) 家庭ごみの有料化（環境政策課）

評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集を行いました。横須賀市では当面導入の予定はありませんが、将来的な検討の必要性を考慮して引き続き調査を行いました。

(3) ごみ処理に関する新たな技術等の調査、検討（環境政策課）

評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・株式会社エコランドと連携し、リユースできるおもちゃ等を回収するリユース施策を開始しました。
- ・株式会社マーケットエンタープライズと連携し、リユースプラットフォーム「おいくら」によるリユース推進を開始しました。
- ・さらなるリユースを推進するため、リユース施策の検討をしました。

4.その他

(Ⅰ) 災害廃棄物に対する取組 (環境政策課)								
評価	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10 年度	R11 年度
	A	A						

【取組実績】

- ・ 連合町内会長を対象として、地域の災害廃棄物の対応についての説明会を行いました。

1 はじめに

災害時に発生するごみ

■生活ごみ

- 日常生活で発生するごみ
- 『集積所』にお出してください
- 燃せるごみ(生ごみ、携帯トイレ、紙おむつ、衛生用品等)を優先的に収集します

■災害ごみ (災害廃棄物)

- 自然災害によって発生したごみ
- 『仮置場』にお出してください

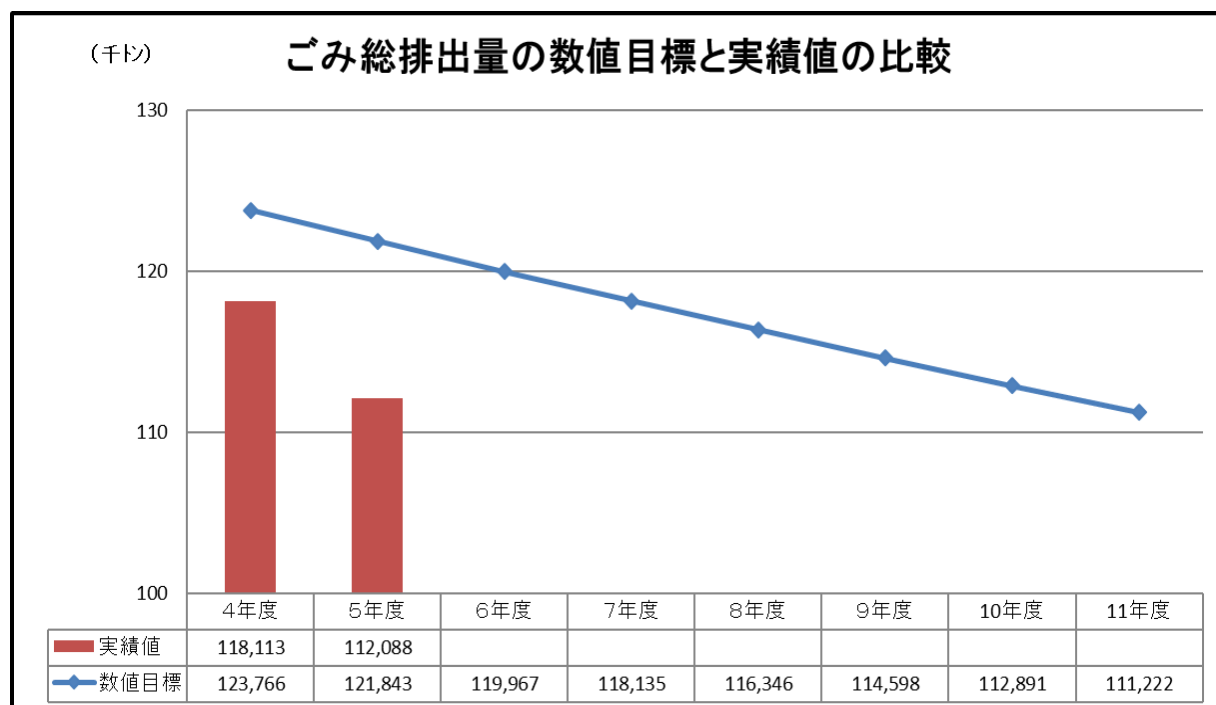
3

連合町内会説明会のスライド

第3章 数値目標と対象年度実績の比較

令和2年度のごみ処理実績を基に設定した数値目標と対象年度の実績値の比較を行います。

項目		単 位	令和2年度 【基準年度】	令和4年度 【前年度】	令和5年度 【対象年度】	令和11年度 【目標年度】	令和11年度 【目標年度】 との比較
排出量	総排出量	t/年	125,488	118,113	112,088	111,222	866
	ごみ量	t/年	106,141	101,217	96,354	97,561	△1,207
	集団資源回収量	t/年	19,347	16,896	15,734	13,661	2,073
	1人1日総排出量 (集団回収を含む)	g/人・日	864	831	796	810	△14
資源化量		t/年	42,056	38,165	36,351	37,421	△1,070
資源化率		%	33.5%	32.3%	32.4%	33.6%	△1.2%



第4章 総合評価

I 関連施策の取組について

(1)重点施策

令和4年度に実施したプラスチックの実証事業等の結果を踏まえ、令和5年10月からプラスチックの一括収集を全市域で実施しました。

(2)継続施策

粗大ごみの定義見直しやプラスチック一括収集に伴う分別変更に向けたごみトークを実施するとともに、ごみ問題学習会を数多く実施し、ごみの排出抑制、適正処理を推進することを含めた周知・啓発を行うことができました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた横須賀ごみ処理施設「エコミル」の施設見学を開始し、リサイクルプラザ「アイクル」と併せて施設見学を実施することで、分別の大切さやごみ処理についてより身近な場所で意識してもらう機会を提供することができました。

今後ともごみの排出抑制及び適正処理を推進するため、啓発や指導を継続していきます。

(3)検討施策

おもちゃリユースについて、令和4年度にアイクルフェアで実施した実証での効果を踏まえ、市内5か所に回収ボックスを設置し、令和5年10月から本格実施を開始しました。

その他のリユース事業として、事業者と連携し、リユースプラットフォームを周知することによりリユースの推進を開始しました。

(4)その他

災害廃棄物に対する取組として、連合町内会長を対象として、災害時におけるごみの出し方や仮置場に関する周知・啓発を目的とした説明会を実施しました。

令和6年度は、町内会・自治会長等を対象として周知・啓発を継続します。

2 令和5年度ごみ処理実績値と数値目標の比較

(1)ごみ総排出量の比較

令和5年度のごみ総排出量は、112,088 トンであり、令和4年度実績と比較して6,025 トン(5.1%)、基値年度(令和2年度)実績と比較して13,400 トン(10.7%)減少しており、令和11年度数値目標に対する達成率は93.9%でした。

また、令和5年度の数値目標 121,843 トンと比較すると、9,755 トン下回っており、令和11年度には数値目標を達成するペースでごみ総排出量が減少しています。

(2)ごみ量と集団資源回収量それぞれの比較

ごみ量と集団資源回収量を分けて比較すると、ごみ量については前年度比で4,863 トン (4.8%)、集団資源回収量については前年度比で1,162 トン (6.9%)減少しており、ごみ総排出量に対して、集団資源回収量の減少割合が大きいと言えます。集団資源回収量の減少が大きかった要因としては、電子書籍やニュースアプリの普及による新聞・雑誌の利用者・購読数の減少などが考えられます。

また、目標値と比較すると、ごみ量は△1,207 トンと既に目標値を達成している状況にあり、集団資源回収量は2,073 トンと、前年度からの減少率が今後も維持された場合は、数値目標を達成するペースで減少しています。

(3)資源化量と資源化率の比較

資源化量については、容器包装プラスチックや資源化量全体の約3分の1を占める集団資源回収の減少により、前年度比で1,814 トン (5.0%)と大幅に減少しています。

また、目標値と比較すると、△1,070 トンと未だ目標値を達成できていない状況にあります。

資源化率については、令和5年度は32.4%と、前年度から0.1%増加したものの、令和11年度の数値目標である33.6%より1.2%低い結果となり、未だ目標値を達成できておりません。

別添資料 1 ごみ処理実績の5か年推移

1 排出量

(1) 種類別排出量

単位：トン

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
燃せるごみ	88,862	84,395	82,333	81,178	77,102	△ 4,076	△ 5.0%
不燃ごみ	4,449	1,292	1,028	921	1,140	219	23.8%
資源ごみ	14,053	16,035	15,565	14,806	14,205	△ 601	△ 4.1%
缶・びん・ペットボトル	6,171	6,304	6,176	5,870	5,584	△ 286	△ 4.9%
容器包装プラスチック	7,747	7,268	7,010	6,337	2,940	△ 3,397	△ 53.6%
プラスチック資源	-	-	-	106	3,468	3,362	3,171.7%
乾電池等	122	157	150	141	131	△ 10	△ 7.1%
枝草	-	2,292	2,216	2,335	2,065	△ 270	△ 11.6%
その他	13	14	13	17	17	0	0.0%
粗大ごみ・破砕できないごみ	3,829	4,419	4,589	4,312	3,907	△ 405	△ 9.4%
小 計	111,193	106,141	103,515	101,217	96,354	△ 4,863	△ 4.8%
集団資源回収	20,106	19,347	18,181	16,896	15,734	△ 1,162	△ 6.9%
合 計	131,299	125,488	121,696	118,113	112,088	△ 6,025	△ 5.1%

注) 枝草は、令和元年度まで燃せるごみ、令和2年度から資源ごみとして処理をしている。

(2) 収集等形態別排出量

単位：トン

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
定日収集	79,641	80,120	77,122	74,414	70,432	△ 3,982	△ 5.4%
燃せるごみ	61,557	65,305	62,948	61,221	57,369	△ 3,852	△ 6.3%
不燃ごみ	4,176	1,246	993	886	1,081	195	22.0%
缶・びん・ペットボトル	6,165	6,302	6,172	5,866	5,577	△ 289	△ 4.9%
容器包装プラスチック	7,743	7,267	7,009	6,335	2,939	△ 3,396	△ 53.6%
プラスチック資源	-	-	-	106	3,466	3,360	3,169.8%
許可収集	20,192	18,007	18,428	19,031	18,453	△ 578	△ 3.0%
乾電池等収集	122	157	150	141	131	△ 10	△ 7.1%
粗大ごみ等収集	1,124	1,255	1,102	978	830	△ 148	△ 15.1%
臨時収集	904	616	624	658	620	△ 38	△ 5.8%
直接搬入	9,210	5,986	6,089	5,995	5,888	△ 107	△ 1.8%
小 計	111,193	106,141	103,515	101,217	96,354	△ 4,863	△ 4.8%
集団資源回収	20,106	19,347	18,181	16,896	15,734	△ 1,162	△ 6.9%
合 計	131,299	125,488	121,696	118,113	112,088	△ 6,025	△ 5.1%

(3) 他市受入れ量

単位：トン

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
三浦市 燃せるごみ	8,149	8,705	8,751	8,425	8,266	△ 159	△ 1.9%
三浦市 不燃ごみ	40	202	184	169	132	△ 37	△ 21.9%
三浦市 粗大ごみ	79	379	346	325	279	△ 46	△ 14.2%
三浦市 容器包装プラスチック	-	-	117	-	-	0	0.0%
三浦市 合計	8,268	9,286	9,398	8,919	8,677	△ 242	△ 2.7%
千葉県 災害ごみ	115	-	-	-	-	-	-

2 処分量（処理施設搬入量）

単位：トン

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
焼却施設	101,055	98,622	95,833	94,042	89,465	△ 4,577	△ 4.9%
不燃ごみ等選別施設（不燃）	4,489	1,497	1,218	1,096	1,278	182	16.6%
不燃ごみ等選別施設（粗大）	4,190	4,775	4,916	4,620	4,165	△ 455	△ 9.8%
資源化施設	18,484	18,484	18,003	16,755	15,874	△ 881	△ 5.3%
積替保管施設（枝草等）	176	2,351	2,269	2,381	2,109	△ 272	△ 11.4%
直接資源化	15,282	13,920	13,382	12,368	11,807	△ 561	△ 4.5%
合 計	143,676	139,649	135,621	131,262	124,698	△ 6,564	△ 5.0%

注） 資源化施設処分量には、リサイクルプラザに搬入される集団資源回収（段ボール、紙パック、その他の紙）を含む。

3 資源化量

単位：トン

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
リサイクルプラザ	17,785	18,092	17,824	16,615	15,698	△ 917	△ 5.5%
プラ資源化（民間）	－	－	－	103	309	206	200.0%
集団資源回収	15,127	13,720	13,196	12,088	11,306	△ 782	△ 6.5%
焼却灰スラグ化ほか	7,517	7,843	7,022	6,921	6,840	△ 81	△ 1.2%
粗大金属ほか	843	1,130	1,078	1,010	949	△ 61	△ 6.0%
枝草	－	2,081	2,105	2,143	1,957	△ 186	△ 8.7%
合 計	41,272	42,866	41,225	38,880	37,059	△ 1,821	△ 4.7%

注） 集団資源回収のうち段ボール、紙パック、その他の紙はリサイクルプラザの資源化に含む。

4 資源化率

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
資源化率	31.4%	33.5%	33.2%	32.3%	32.4%	0.1%	－
県内平均資源化率	24.1%	24.9%	24.7%	24.4%		－	－
全国平均資源化率	19.6%	20.0%	19.9%	19.6%		－	－

注） 資源化率（％）＝【資源化量】÷【排出量合計（集団資源回収量を含む）】×100

5 1人1日排出量

単位：グラム

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
集団回収を除く	758	731	719	712	684	△ 28	△ 3.9%
集団回収を含む	895	864	846	831	796	△ 35	△ 4.2%

【参考】

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人 口 （ 人 ）	401,977	397,846	394,226	389,241	384,663
世 帯 数 （ 世 帯 ）	191,703	191,827	192,471	192,271	192,233

注） 人口及び世帯数は10月1日現在の住民基本台帳による。

別添資料2

神奈川県一般廃棄物処理実績報告の定義に基づく生活系、事業系ごみの内訳

1 生活系ごみについて

(1) 排出量

単位：トン

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
可燃ごみ	59,792	61,611	62,993	61,254	57,432	△ 3,822	△ 6.2%
不燃ごみ	4,757	4,176	993	887	1,082	195	22.0%
資源ごみ	14,280	14,063	13,367	12,482	12,146	△ 336	△ 2.7%
粗大ごみ・破砕できないごみ	3,085	3,745	4,537	4,256	3,853	△ 403	△ 9.5%
小計	81,914	83,595	81,890	78,879	74,513	△ 4,366	△ 5.5%
集団回収量	20,467	19,682	17,885	16,621	15,513	△ 1,108	△ 6.7%
合計	102,381	103,277	99,775	95,500	90,026	△ 5,474	△ 5.7%

注) 概ね、定日収集、粗大ごみ(収集・直接搬入)、乾電池等収集、集団資源回収の合計。

(2) 1人1日排出量

単位：グラム

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
集団回収を含む	704	712	693	672	641	△ 31	△ 4.6%

2 事業系ごみについて

(1) 排出量

単位：トン

区分 \ 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5年度対前年度比較	
						増△減	増減割合
可燃ごみ	27,644	19,736	19,602	20,168	19,863	△ 305	△ 1.5%
不燃ごみ	273	46	35	34	58	24	70.6%
資源ごみ	21	2,306	2,232	2,355	2,087	△ 268	△ 11.4%
粗大ごみ	84	49	52	56	54	△ 2	△ 3.6%
合計	28,022	22,137	21,921	22,613	22,062	△ 551	△ 2.4%

注1) 概ね、許可収集、直接搬入(燃せるごみ・不燃ごみ・資源ごみ)の合計。

直接搬入分は、集計の都合上、一部市民からの持ち込み分を含む。

注2) 枝草は、令和元年度まで燃せるごみ、令和2年度から資源ごみとして処理をしている。

別添資料3 県内19市の資源化率と原単位(1人1日排出量)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

令和3年度 (2021年度)

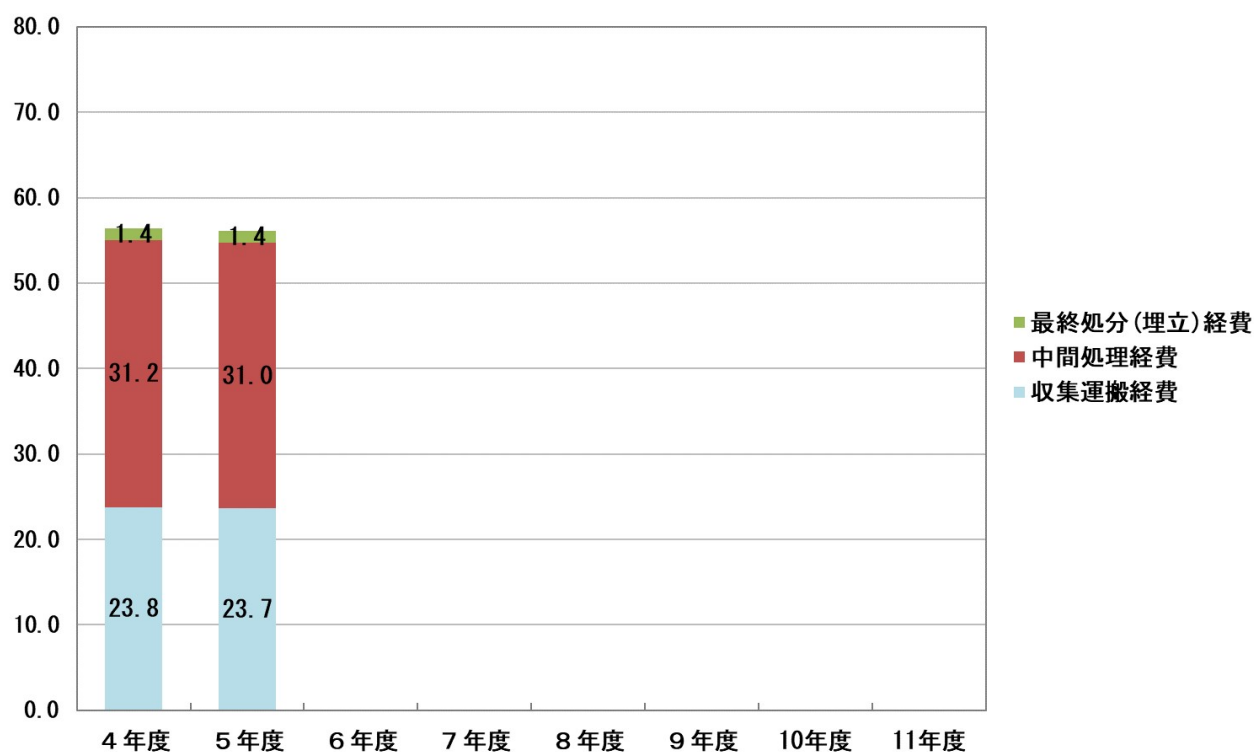
令和4年度 (2022年度)

資源化率	原単位	集団回収を含む原単位	資源化率	原単位	集団回収を含む原単位
1. 鎌倉 52.8%	1. 藤沢 682g	1. 座間 694g	1. 鎌倉 56.7%	1. 藤沢 672g	1. 座間 678g
2. 逗子 46.6%	2. 座間 686g	2. 海老名 730g	2. 逗子 45.9%	2. 座間 672g	2. 海老名 714g
3. 三浦 34.9%	3. 逗子 689g	3. 大和 764g	3. 三浦 37.3%	3. 逗子 677g	3. 茅ヶ崎 715g
4. 海老名 34.4%	4. 横浜 703g	4. 綾瀬 778g	4. 海老名 33.8%	4. 横浜 695g	4. 綾瀬 744g
5. 横須賀 33.3%	5. 川崎 719g	5. 川崎 783g	5. 横須賀 32.5%	5. 川崎 697g	5. 大和 747g
6. 座間 32.8%	6. 海老名 730g	6. 茅ヶ崎 804g	6. 座間 32.4%	6. 海老名 714g	6. 川崎 758g
7. 藤沢 30.1%	7. 伊勢原 731g	7. 伊勢原 804g	7. 秦野 29.9%	7. 茅ヶ崎 715g	7. 秦野 788g
8. 秦野 30.1%	8. 横須賀 739g	8. 横浜 807g	8. 藤沢 29.6%	8. 伊勢原 720g	8. 伊勢原 790g
9. 綾瀬 29.5%	9. 大和 764g	9. 秦野 808g	9. 綾瀬 29.3%	9. 横須賀 732g	9. 横浜 794g
10. 大和 26.0%	10. 綾瀬 778g	10. 藤沢 812g	10. 茅ヶ崎 26.8%	10. 綾瀬 744g	10. 藤沢 797g
11. 平塚 25.5%	11. 秦野 802g	11. 平塚 831g	11. 大和 25.9%	11. 大和 747g	11. 逗子 812g
12. 厚木 24.9%	12. 茅ヶ崎 804g	12. 逗子 832g	12. 厚木 25.3%	12. 秦野 783g	12. 相模原 818g
13. 伊勢原 24.3%	13. 相模原 826g	13. 相模原 837g	13. 平塚 25.1%	13. 相模原 807g	13. 平塚 818g
14. 南足柄 24.3%	14. 平塚 831g	14. 厚木 842g	14. 伊勢原 24.3%	14. 平塚 818g	14. 厚木 823g
15. 茅ヶ崎 23.8%	15. 厚木 842g	15. 横須賀 867g	15. 南足柄 24.0%	15. 厚木 823g	15. 南足柄 845g
16. 横浜 23.2%	16. 南足柄 867g	16. 南足柄 867g	16. 小田原 22.8%	16. 南足柄 845g	16. 横須賀 852g
17. 小田原 22.7%	17. 鎌倉 929g	17. 鎌倉 929g	17. 横浜 22.6%	17. 鎌倉 902g	17. 鎌倉 902g
18. 相模原 20.5%	18. 小田原 945g	18. 小田原 945g	18. 相模原 19.6%	18. 小田原 940g	18. 小田原 940g
19. 川崎 19.2%	19. 三浦市 971g	19. 三浦 985g	19. 川崎 19.0%	19. 三浦市 977g	19. 三浦 990g
19市平均	24.6%	742g	24.4%	727g	793g
県内平均	24.7%	750g	24.4%	734g	799g
全国数値	19.9%	855g	19.6%	847g	880g

注) 神奈川県一般廃棄物処理実績報告の原単位は、「推計人口」を用いているため、本市のごみ処理実績の1人1日排出量(9ページ)と一致しない。

別添資料4 ごみ処理経費の推移

(億円／年)



【各経費の主な内訳】

- ・収集運搬経費…人件費（収集担当職員、一般職員※）、車両購入費、ごみ収集直営事業、ごみ収集委託事業、自動車管理事業 等
- ・中間処理経費…人件費（工場操作担当職員等、一般職員※）、リサイクルプラザ再資源化事業、南処理工場運営事業 等
- ・最終処分経費…人件費（一般職員※）、ごみ最終処分事業、長坂埋立地浄化センター管理事業 等

※一般職員の人件費は、収集運搬・中間処理・最終処分の各事業費の規模で按分して配分している。

別添資料5 県内19市のごみ処理経費(令和4年度実績)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

総処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	綾瀬市	33,124
2	平塚市	34,941
3	横浜市	37,143
4	小田原市	37,405
5	川崎市	37,409
6	座間市	40,301
7	相模原市	41,101
8	海老名市	41,498
9	秦野市	43,911
10	伊勢原市	48,019
11	南足柄市	48,997
12	茅ヶ崎市	50,428
13	厚木市	52,573
14	三浦市	54,096
15	横須賀市	55,616
16	藤沢市	58,914
17	鎌倉市	64,245
18	逗子市	80,044
19	大和市	81,623
19市合計(1ト当たり)		42,706

収集経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	小田原市	19,234
2	秦野市	22,956
3	南足柄市	23,858
4	相模原市	24,597
5	逗子市	24,613
6	綾瀬市	26,261
7	川崎市	26,814
8	平塚市	27,391
9	伊勢原市	27,608
10	座間市	28,188
11	横浜市	29,196
12	三浦市	30,614
13	茅ヶ崎市	31,046
14	鎌倉市	31,081
15	横須賀市	31,434
16	海老名市	35,282
17	大和市	35,464
18	厚木市	37,529
19	藤沢市	47,535
19市合計(1ト当たり)		29,309

中間処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	綾瀬市	10,614
2	平塚市	13,550
3	海老名市	14,311
4	横浜市	15,516
5	川崎市	15,742
6	座間市	16,278
7	南足柄市	18,701
8	小田原市	18,938
9	茅ヶ崎市	20,935
10	厚木市	21,339
11	秦野市	21,605
12	伊勢原市	21,659
13	相模原市	23,182
14	藤沢市	24,268
15	三浦市	26,046
16	横須賀市	30,773
17	鎌倉市	42,065
18	逗子市	54,324
19	大和市	55,357
19市合計(1ト当たり)		19,843

最終処分(埋立) 経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	相模原市	5,493
2	横浜市	9,565
3	川崎市	11,735
4	厚木市	39,834
5	小田原市	44,378
6	大和市	57,392
7	茅ヶ崎市	68,872
8	秦野市	73,113
9	伊勢原市	75,805
10	南足柄市	140,065
11	平塚市	209,734
12	横須賀市	228,333
13	藤沢市 注1)	898,255
14	三浦市 注1)	1,733,821
15	鎌倉市 注2)	—
16	逗子市 注2)	—
17	海老名市 注3)	—
18	座間市 注3)	—
19	綾瀬市 注3)	—
19市合計(1ト当たり)		17,359

1人当たり年間処理経費

順位	市区町村名	1人当たり (円)
1	綾瀬市	8,990
2	横浜市	9,420
3	川崎市	9,521
4	座間市	9,879
5	平塚市	10,434
6	海老名市	10,810
7	相模原市	12,108
8	秦野市	12,552
9	伊勢原市	12,622
10	小田原市	12,833
11	茅ヶ崎市	13,168
12	藤沢市	14,453
13	横須賀市	14,862
14	南足柄市	15,114
15	厚木市	15,789
16	三浦市	19,286
17	逗子市	19,785
18	鎌倉市	21,155
19	大和市	22,260
19市合計(1ト当たり)		11,329

※推計人口数で算出

注1) 藤沢市は、廃棄物のうち最終処分される割合が少なく、三浦市は、ごみ処理及び維持管理費の総額に対する最終処分費の割合が多いため、最終処分(埋立)経費の単価が高くなっている。

注2) 鎌倉市と逗子市は不燃ごみを直接埋立てていないため、1トン当たりの経費を算出していない。

注3) 海老名市、座間市、綾瀬市は、3市で「高座清掃施設組合」を構成し、各市で組合分担金を支出しているが、組合金分担金は中間処理費に分類している。